

緑の風 NEWS

JRW JR東労組

NEWS



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union

2025年12月5日 No.42

東中野事故から37年

■東中野事故が「責任追及から原因究明へ」の安全哲学確立のきっかけに

1988年12月5日、運転士を含む2名の方々が亡くなり、多くの負傷者を出した「東中野事故」が発生しました。今年で37年を迎えます。

1987年の会社発足当時、わずかな列車遅延でも乗務停止やボーナスカットが行われ、危険を感じながらも運行を優先する職場風土がありました。JR東労組は「事故撲滅宣言」を発出し、「事故や災害が予測される時は躊躇することなく、列車を止めましょう」と呼びかけましたが、その1ヶ月後に東中野事故が発生してしまいました。

以降、人間は間違いを起こすものであることを前提に労使で議論を深め、事故から謙虚に学ぶ「責任追及から原因究明へ」の安全哲学を確立しました。



排除の論理では安全は守れない！

事故・事象に向き合い、「責任追及から原因究明へ」の安全哲学をもとに、安全な鉄道・バスを創りだそう！